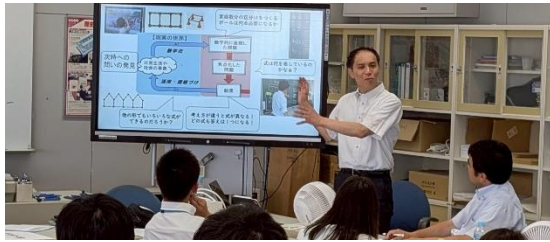


数学科教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり	
日時	令和7年7月10日(木)	
会場	石狩市立樽川中学校	
講師	谷地元 直樹 氏(北海道教育大学旭川校 教授)	
指導者	高橋 洋平氏(石狩市立樽川中学校 教諭)	
参加者	26 名	
研修会 の 様子		指導者である高橋教諭の公開授業の様子です。各市町村から多くの先生方の出席がありました。 問題や教材が工夫されていて、生徒が意欲的に参加していました。また、身の周りの事象を題材としており、生徒とのやりとり通して本時の学習内容を引き出そうとしていました。
		文字を使って、多様な式で表したり、その式から求め方を考えさせたりする活動でしたが、いくつかの式を引き出させることはできませんでした。まずは、一つの方法についてじっくり考えさせることが必要となりました。発展的な内容も用意していただけない、課題解決への流れが惜しまれました。
		公開授業に関する研究協議の様子です。公開授業についての補足説明や、参加者の先生方からの質疑、それに対する応答等、活発な話し合いになりました。また、講師である谷地元教授にもご意見をいただき、有意義な研究協議となりました。
		数学部会の研究テーマである「思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり」に沿った講演を、谷地元教授に行っていただきました。「見方・考え方」の見方と考え方にはそれぞれの意味があり、それを教師がどこまで理解し、区別してとらえているかが大切であると話していただきました。
		谷地元教授の講義だけでなく、参加者も日頃の授業で苦手と感じる項目を交流することで、授業が失敗する原因を改めて考えました。講演では、授業改善の視点をたくさん与えていただきました。今回も、参加者からはとても勉強になったことや次回も谷地元先生に講演していただきたいという要望がアンケートに記入されていました。